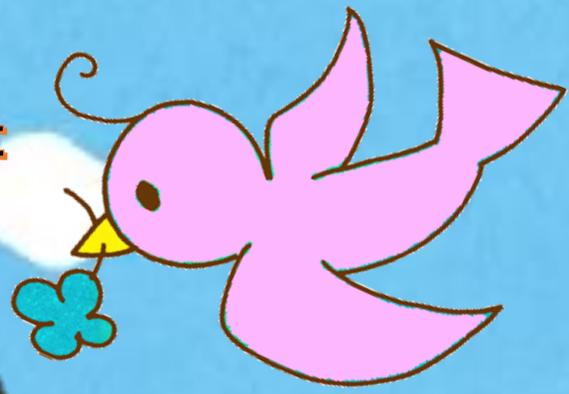


令和3年度（2021年度） 八王子市立児童館 事業報告書



「楽しい」からはじまる
支援のカタチ

八王子市子どもすこやか宣言

自然豊かなこの八王子で、子どもたちがいきいきと生活し、自らの可能性を伸ばすとともに、子どもの権利をみんなが理解し、おたがいに信頼しあえる関係を大切にするにより、子どもが心も体も豊かに成長できるよう、ここに八王子市子どもすこやか宣言をおこないます。

- 1 わたしたちは、人にはみんな違いがあり、みんなよいところをもっていることを認め、おたがいに相手を尊重します。
- 1 わたしたちは、がまんすることの大切さを理解するとともに好きなことに夢をもち、元気にくらしします。
- 1 わたしたちは、しっかりと自分を表現し、自分の意見や行動に責任をもちます。
- 1 わたしたちは、子どもたち一人ひとりが大切にされ、安心して生活できる家庭を望みます。
- 1 わたしたちは、家庭や学校そして地域で、学習する楽しさがわかり自分の可能性を伸ばすことのできる環境を求めます。

平成13年2月4日 八王子市

八王子市子ども・若者育成支援計画 基本理念

みんなで育てる みんなが育つ

わたしたちがミライにつなぐ はちおうじ

目次

～「楽しい」からはじまる支援のカたち～

- 1 八王子市立児童館がめざす支援のカたち ～児童館ソーシャルワーク～ 3～4
 - 2 活動報告① ～幅広い年齢に合わせた取り組み～ ……5～9
 - 乳幼児親子への子育て支援
 - 小学生の活動
 - 中学生・高校生世代の活動
 - <特集>子どもたちとつくる児童館活動
～ひとりでもたのしいふしぎな夢ツアー
 - 3 福祉的支援の事例報告 ……10
 - 支援の具体的な事例と職員の資質向上に向けた取り組み
 - 4 活動報告② ～地域連携の取り組み～ ……11～12
 - 児童館まつりへの取り組み
 - 地域多世代交流
 - 5 活動報告③ ～子ども・若者のまちづくり参画への取り組み～ ……13～16
 - 子ども☆ミライ会議
 - 八王子活性化プロジェクト2021
- 八王子市立児童館一覧、児童館案内図 ……17～18

児童館での主な感染症対策

来館時
検温&手指消毒

マスクの着用

定期的に
換気&消毒

人数制限など
3密の回避

1 八王子市立児童館がめざす支援のカタチ



「地域・関係機関と連携して八王子の子どもたちを支援」

八王子市立児童館は市内の子ども・若者の意見を尊重し、悩みごとがあれば、子ども自らが相談できる場所、安心して過ごせる居場所です。児童館では、一人ひとりが抱える問題の解決に向けて、遊びや体験活動をとおして子ども・若者に寄り添いながら、学校、民生・児童委員、子ども家庭支援センターなどの地域の関係機関と連携して、子どもたちを支援しています。



児童館ソーシャルワーク

～遊びをとおした福祉的支援～

子どもとの関係づくりから相談援助へ

児童館を利用する子どもの中には、悩みやストレスを抱えた子ども、生活に不自由さのある子ども、友人関係や親子関係に課題がある子ども、一見問題が無いように見えても実は見逃せない問題のある子どもが見受けられることもあります。

児童館ソーシャルワークの特徴は、職員が子どもたちに日常的にかかわり、関係を構築する働きかけを継続していることです。職員は遊びをとおして、気軽に話しかけられる雰囲気を作り、安心して会話ができる信頼関係を築く努力を重ね、相談しやすい環境を整えています。



子どもの興味、関心による動機によってなされる「遊び」には、「楽しい」「おもしろい」「気分が良い」といった快適な感情を伴いながら、繰り返し行われます。そして、多少の困難や苦勞を乗り越えて様々な問題を対処・克服し、生活の質を高めるスキルを獲得する機会となります。職員はその「遊び」をとおして健全育成を図っています。

また、「遊び」は、その楽しさやおもしろさにどのような分析も解釈も必要としない、人を引き付ける強力なツールです。職員は子どもと一緒に遊ぶことで、子どもを理解し、語り、時間と空間の共有や共同作業のなかで信頼関係を構築します。職員からの働きかけに反応するようになった子どもは、友だち関係や家庭、進路の問題等を報告したいとき、話を聴いてほしいときに自分から声を掛けてくるようになり、次第にその場を自分の居場所として認識していきます。職員も子どもにとって「話を聞いてくれる」「相談に乗ってくれる」存在となるように努めており、福祉的支援へと広がっています。

2 活動報告① ～幅広い年齢に合わせた取り組み～

1

乳幼児親子への子育て支援



地域の企業とのコラボレーション

地域の方々と連携した乳幼児を対象とした活動



乳幼児を対象とした活動は、「プレママプレパパ事業」「赤ちゃんひろば」「幼児クラブ」「子育て講座」「乳幼児広場」「相談事業」「赤ちゃんフラット」などがあり、保護者の情報交換の場にもなっています。コロナ禍で中止となりましたが、他にも「出張幼児広場」「赤ちゃんふれあい授業」など地域の方々と中学校との交流行事を予定していました。

先輩ママ大活躍！



保育園に入所を希望する親子が増える中で、入所に関しての不安な思いの相談が多く児童館に寄せられています。そこで、入所を経験した先輩ママに講師をお願いしました。講座が終わった後も相談しあえる仲間づくりの機会となりました。

講師コメント

地域在住の子育てママは、マラソンの現役アスリート。2か月に1回、幼児体操指導者として、体操教室をしてくれています。最初は場所見知りをしていた子どもたちも、すぐに楽しく参加できるようになりますよ。



講話や活動のサポートなどご協力いただき乳幼児活動を行っています

地域の畑で収穫

毎年地域の方のご厚意で児童館の近くの畑にじゃがいもほりに行っています。



児童館庭でも、じゃがいもや大根、サツマイモを植えて収穫を楽しみました。



ゆったり
リラックスヨガ



育児に追われ、心身ともに疲れているママの健康を願って始めました。口コミやリピーターで参加者が増え、ヨガの後にはいつも、皆スッキリ笑顔になり会話が弾んでいます。

館ヶ丘児童館 山本 美峰



地域の民生・児童委員の方が幼児活動のお手伝いに来てくれました。



プレゼントを入れる箱を中学生が作ってくれました。



感染症対策をしながら「楽しい」にチャレンジ



2

小学生の活動



「楽しい」にチャレンジ



**ようこそ児童館へ！
歓迎会を開催しました！**

児童館は小学生にとって、近所にある身近な遊び場・居場所です。

たくさん子どもたちが楽しく遊び、様々な体験ができるよう、日々の遊びの支援、行事の企画を行っています。

**工夫して、楽しく！
色々なことに挑戦しています！**

児童館では、ソーシャルディスタンスや換気に配慮しながら楽しめるよう、遊びを工夫しています。コロナ禍という制約のある中で、遊びの幅を広げるにはどうすればいいか、またコロナ禍だからこそ子どもたちに何が必要かを、日々考えています。

ルールを守りながら友だちと競う楽しさも経験しました！



季節の行事を体験できる貴重な場！感染対策をして、最大限の経験を！



**種まきや水やりなど、
お世話をしたサトイモを
みんなで収穫したよ！**

職員コメント

畑を耕し野球チームの話、草取りをして学校の話、水やりでお父さんお母さん自慢、里芋育ての7か月、子ども達とたくさん話しました。中には家庭や友だちの相談も。そして大きく育った葉っぱの間で体験ごっこ。子ども達の収穫への思いは格別でした。

南大谷児童館 河村 卓哉

色々な学校、色々な学年の子と遊んだり、行事に参加して色々な経験をしたり、職員が見守る児童館だからできる経験がたくさんあります！



みんな体を動かすのが大好き！
楽しく遊べるよう職員もサポートしています！



中学生・高校生世代の活動

3

児童館は中学生や高校生世代にとっても、身近な居場所・活動の場となっています。また、多くの中高生世代が自分の得意な事や好きな事を活かし、ボランティア活動や実行委員会活動をして活躍しています。

小学生にボードゲームを教えるイベントを、一から企画して実施



児童館を利用している中学生から、「地域の小学生とふれ合う活動を企画して、小・中学生の交流を図りたい。」と提案がありました。彼らは児童館にある「カタン」というボードゲームが好きだったことから、児童館で小学生にカタンを体験してもらうイベントを開催することにしました。ポスター作り、カタンを教える練習などに積極的に取り組み、当日は小学生に丁寧に接していました。

僕が小学生の時、中学生はふれ合う機会が少ないせいか、怖いイメージがありました。自分が中学生になり、そのイメージを払拭したいと思い、今回の企画に至りました。一緒に活動する仲間集めや、緊急事態宣言の発令による日程変更などの課題を、一つ一つ乗り越えてイベントを実施でき、良かったです。(松が谷中学校 小櫃君、武輪君)

コロナ禍でも中高生世代が元気に活躍中!

中高生世代が主体となって、児童館の新しい遊びを開発

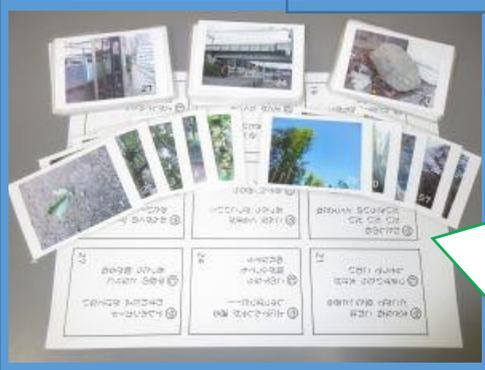


実行委員会の様子と完成した「カルタ」



全国の児童館をサポートしている一般財団法人・児童健全育成推進財団主催で、児童館でできる安全で活発な新しい遊びを企画するプロジェクト「野遊び・外遊びアワード 2021」が開催され、八王子市立児童館のプログラムが採択されました。

浅川児童館では、中高生世代の利用者や地域の中学校のボランティア部に声をかけ、中高生世代が主体となって新しい遊びを考案するという形で、「野遊び・外遊びアワード 2021」に参加しました。高尾山の麓にある児童館の特性を活かし、「地域の自然や街並みの写真を撮影してカルタを作るプログラム」を実践しました。どんな写真を撮ると面白いかな、写真に合う読み札の文章を作るのに試行錯誤しながら、全60枚のカルタが完成しました。



新型コロナウイルスの感染対策として、声を出しておどかさ要素が多い行事「オバケ屋敷」が中止になりました。

小中学生が協力しながら立案・制作・運営ができる行事はないか！？と新しい企画にしました。試行錯誤をしながら何度も作っては調整を繰り返しました。

本番中は実行委員の友だちにも参加してもらいましたが、保護者や学校の先生に招待状を出し、児童館での活躍を見てもらいました。



乗り心地チェック！



大きな絵は塗るのも大変・・・



＜特集＞子どもたちとつくる児童館活動

ひとりでもたのしい ふしぎな 夢ツアー

元八王子児童館



光る絵や仕掛けをみんなで考えました！

児童館の部屋が不思議空間に・・・



～入場者の感想～

- * すごく絵がかわいく、本当に夢の国のようでした！
- * 児童館にいるのを忘れるくらい楽しい時間でした！
- * 絵が飛び出っていて、作った人はスゴいなあ～って思った！

大臣と市長も視察され、大好評でした！



3 福祉的支援の事例報告

支援の具体的な事例と職員の資質向上に向けた取り組み

遊びをとおした支援の事例1 小学3年生のA子さん

小学3年生のAさんは、コロナ禍に入り登校渋りが多くなりました。母親の体調がすぐれず、主任児童委員の紹介で児童館を利用するようになりました。自分の気持ちを伝えることが苦手で、最初は緊張した様子でした。Aさんが通っている小学校と連携し、学校に行けないときは児童館で工作や学習をして過ごしました。中学生がAさんに勉強を教えたり、ボードゲームで遊んだりしてくれました。児童館に遊びに来る子どもとも徐々に打ち解けるようになり、児童館に来館してから3か月ほど経つと、少しずつ学校に行けるようになり、現在は、同じクラスの友達と定期的に遊びに来られるようになりました。

遊びをとおした支援の事例2 中学2年生のBくん

中学2年生のBくんは体を動かすことが好きで、小さい頃から児童館を利用していました。同級生とは遊ばず、年下の子どもと遊んでいました。感情をコントロールすることが苦手で、思い通りにならないと、暴力的な行動にでてしまうこともありました。遊びの中でトラブルが続き、児童館の遊具を壊してしまったこともあり、母親に来てもらい、職員と一緒に話をすることもありました。母親に承諾していただき、学校の先生とも連携して対応しました。母親と先生の話から、Bくんは創作活動が得意ということが分かったので、児童館のイベントの看板作りを頼んだところ、丁寧に作成してくれました。高校生になってからは、小学生にスポーツを教えてあげたり、違う学校の同学年の子どもと交流したりして、今では来館することをとても楽しみにしています。

遊びをとおした支援の事例3 高校生世代のCさん

Cさんは小学生のころから児童館を利用し、職員とボードゲームなどで遊びながら、自分のこと、学校や家庭のことをよく話していました。高校3年生の夏休みに同級生とけんかになり、そのことで悩み、児童館では「学校を辞めたい」と職員に相談してきました。それまでCさんからいろいろな話を聞いていたので、「親と話をしたの？自分一人で決められることではないから、親と話をしてみたら？学校を辞めるのは簡単だけど。」と話をしました。しばらくして、Cさんから「親と話をしたけど、あと半年、なんとか学校を卒業した方がいいって言われた。」と報告がありました。職員からも「卒業したらまた環境も変わるでしょう。話は聞けるからいつでも話においで。」と伝えました。その後、友人関係を含めた相談は何度かあったものの、高校を卒業し、現在は就職をしています。

子ども支援研究会



0歳から18歳までの幅広い年齢の子どもたちが児童館を利用しています。児童館は、子どもたちが地域で安心して生活できるように、地域の関係機関と連携して子どもたちを支援しています。子どもたちは自らを取り巻く様々な環境により問題を抱える場面もあります。児童館では子どもたちの健全育成に加え、状況に応じて福祉的支援も行います。そのために、対応の仕方や関係機関とのコーディネートについてスキルの向上を図るため、子ども支援研究会を通して、児童館ソーシャルワークと子ども支援の研究を行っています。

4 活動報告② ～地域連携の取り組み～

1

児童館まつりへの取り組み

地域の方々
と児童館の
連携

八王子市立児童館では、地域の関係団体と連携し、「児童館まつり」及び「児童館・こどもシティ」を実施しています。どちらも会場を「1日限りの子どものまち」とし、市役所・銀行・ゲームコーナーなどの店で働いたり遊んだりを繰り返し、仕事を体験する仕組みであるのが特徴です。令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、計画していた全ての児童館まつり及び児童館・こどもシティが中止となりました。また、令和2年度は実行委員会活動や代替行事なども実施できませんでしたが、令和3年度はその経験を活かして工夫をすることで、地域の関係団体の協力の元、実行委員会活動や代替行事を実施できた事例もありました。



中学生が児童館・こどもシティの 実行委員会活動を実施！



八王子オクトーレ&八王子市学園都市センターを会場として予定していた、中心市街地での「児童館・こどもシティ」。開催を目指し、中心市街地地域の中学校と連携してこどもシティ実行委員を募集し、実行委員会を実施しました。実行委員会では、こどもシティ当日に運営するお店を分担し、お店の看板も作成しました。実行委員の中学生は、限られた時間の中で互いに協力して活動し、こどもシティ当日を楽しみにしている様子も見られました。

南大谷児童館では、「児童館まつり」の代替行事「ナゾ解き！脱出ゲーム」において、例年「児童館まつり」を共催している地域の関係団体の協力を得ることができました。子どもたちが通う小・中学校の校長やPTA、学校運営協議会会長、学童保育所の職員、民生・児童委員などに依頼し、問題を出題する動画を撮影しました。行事当日、参加した子どもたちは会場でその動画を見て問題に挑戦しました。地域の方々の協力は当日まで秘密であり、「校長先生が動画に出てきてびっくり！」「問題が難しかったけれども楽しかった！」などと子どもたちは驚き、喜んでいました。

問題です！



地域の関係団体が 児童館の行事に協力！



地域多世代交流

2

地域のいごとを多世代の視点で考える

地域では多世代が共存していますが、ライフスタイルの違いで交流をする機会が少ないという課題があります。そこで、八王子市としての2040年に向けたまちづくりのモデル地区に選ばれた長房地区で中学生や大学生、高齢者が住んでいる地域の「現在」「未来」を考える交流会を開催しました。

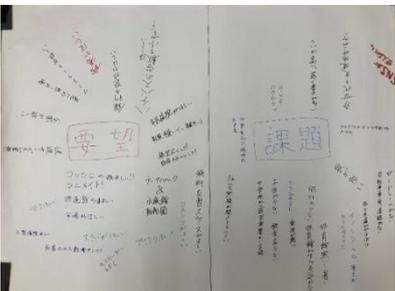


地域の魅力発見マップ



緊張する中学生に寄り添う大学生

みんなの理想のまちづくり



大学生が代表して発表してくれました



創価大学 児童文化研究部

最初は緊張して会話がはずまないことが多くありましたが、徐々に打ち解け、自分たちの地域についておたがいに語りあうようになっていました！

このような世代を超えた交流会は、高齢者と子どもがおたがいに学ぶことがあり、明るい雰囲気の中で地域の未来について考えることのできる、素敵な時間でした！

NAGAFUSA ミライ☆ミーティング

～ 多世代交流 ～
 八王子市立長房中学校生徒会
 中郷ひだまり会（高齢者サロン）
 創価大学児童文化研究部（JARI研）
 八王子市第12地区民生委員児童委員協議会
 八王子市青少年対策長房地区委員会



長房中学校区の魅力発掘！
 こんな長房中学校区にしたいを探そう！
 NAGAFUSA ミライ☆ミーティング vol.01
 日時 2021年11月28日（日）
 9:30～11:30
 場所 コピオ長房 コピテラス
 主催：八王子市高齢者あんしん相談センター長房
 共催：(株)スーパーアルプス長房店・八王子市立中郷児童館

交流会の実施に対しては、地域の市民団体や企業からの協力が得られました。「行政(児童館)」だけではできないことが「地域」と共創することで、より良い機会を創出することができました。

5 活動報告③ ～子ども・若者のまちづくり参画への取り組み～

子ども☆ミライ会議

2040年の八王子

～八王子はわたしたちがつくるまち～



「子ども☆ミライ会議」とは？

「八王子市子どもすこやか宣言」の推進事業の一環として、子どもの声や意見を受け止め、市政に反映するために「子ども☆ミライ会議」を開催しています。

平成30年(2018年)に、市制100周年記念事業として開催した「子どもミライフォーラム」では、子ども企画委員が、子どもミライ提言を発表しました。

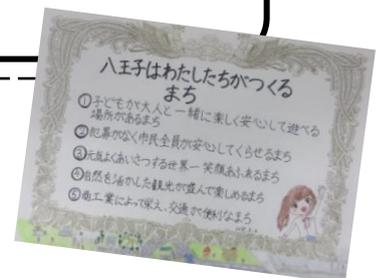
令和3年度(2021年度)は、12月12日(日)に、2040年の八王子へ向けたまちづくりについて、市長・教育長に提案を行いました。

「子どもミライ提言」とは？

子どもミライ提言『八王子はわたしたちがつくるまち』

- ①子どもが大人と一緒に楽しく安心して遊べる場所があるまち
- ②犯罪がなく市民全員が安心してらせるまち
- ③元気よくあいさつする世界一笑顔あふれるまち
- ④自然を活かした観光が盛んで楽しめるまち
- ⑤商工業によって栄え、交通が便利なまち

平成30年2月4日 子ども☆ミライ会議 子ども大使一同





市長・教育長に提案！

子どもたちは「子ども☆ミライ会議」本番の前にも各自で調べたり、ワークショップで意見をまとめたりしました。

ミライ会議の当日は、参加した全員が市長・教育長に発言しました。

子どもたちからの提案を受けた市長・教育長から、意見を求められる場面も！緊張しながらも、自分の意見を伝えることができました。



八王子市内の各児童館では、地域のまちがどのようなまちであつたらいいか、遊びに来た子どもたちで考え、子ども☆ミライ会議で成果を展示しました。



子どもの最善の利益を第一に考え、子どもの権利を保障し、子どもの意見が尊重されるまちづくりに活かしていきます！



川口児童館
井垣 利朗

大学生が「これからの八王子」を考える

明星大学デザイン学部 八王子活性化プロジェクト2021



明星大学デザイン学部では、本市学園都市文化課と連携して「八王子活性化プロジェクト」という授業が行われています。八王子市から提供された課題に対し、どうすれば解決できるかを大学生が考え、発表するものです。令和3年度(2021年度)は7月17日(土)に明星大学で開催されました。

今回はじめて児童館も参加しました。児童館からの課題は「児童館の機能を活かし、若者に魅力のある拠点に」というものでした。



明星大学デザイン学部
八王子活性化プロジェクト2021

「企画表現5」学生による企画プレゼンテーション

デザイン学部3年生必修の地域連携科目「企画表現5」では、学生たちがこれまで以上に学んだ企画力や表現力などを活かして地域の課題を解決する企画提案を行います。

今年度のテーマ

- A 児童館の機能を活かし若者にも魅力ある拠点に
- B 「学園都市センター」の学生利用志向
- C 鹿島・松が谷地域の「まちをつかう」活動
- D 日本遺産「霊気山 高尾山」活用の仕組み

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、プレゼンテーションを撮影・編集した動画をWebサイトにてご覧いただけます。

Webサイトはこちら
<https://kenkyu.hino.meisei-u.ac.jp/k5-2021/>

大学生はグループごとに調査を進め、現状の課題を検討しました。多かった意見は、「『児童館』=『小学生の居場所』のイメージがある」「若者と小学生の共存が難しい」「コミュニケーションを苦手と感じる若者が多い」などでした。それに対し、若者世代も過ごしやすい空間づくりや、コミュニケーションが生まれやすいようなアイデアを提案してくれました。

中には公園や廃校した学校を活用するなど、児童館の敷地に捕らわれないアイデアもありました。その中の一つを次のページでご紹介します。

八王子活性化プロジェクトのポスター

グループ「ATOMOSU」のみなさんへインタビュー

ATOMOSUの提案「コルマス タロ」

- ・空き家をリノベーションしてユースセンターにする
- ・センターごとに特色を分ける
- ・センターの特色を活かしたイベントを開催する

例 A館:ものづくり
B館:ゲームあそび
C館:映画鑑賞・読書 など
→A館でハンドメイド講座を実施!



ATOMOSUのみなさん

Q. 今回のテーマについて考えてみてどうでしたか。

難しかったです。

ポイントとしたのは、コミュニケーションをとれること。

コミュニケーションが苦手な人にも、ボードゲームやイベントなどを取り入れることで、楽しく過ごすことができると思う。時にはイベントの講師となり、教える側も体験してもらう。また、リラックスできる空間づくりをすることで、心を落ち着けて話せる形も考えた。その中でコミュニケーションへの苦手意識を少しずつ減らせていけたらいいと思う。

職員コメント

大学と授業をとおして連携するのは、これまでにない取り組みでした。現在、児童館ではユースセンター(仮)について検討しているところで、利用対象の大学生自身の考えを学ぶため、この課題を提供しました。大学生からは、専門のデザイン力を活かした個性のあるアイデアや、若者の視点による鋭い指摘を頂きました。行政として、当事者の生の考えを聴くことの重要性を改めて感じました。



松が谷児童館
山田 友索

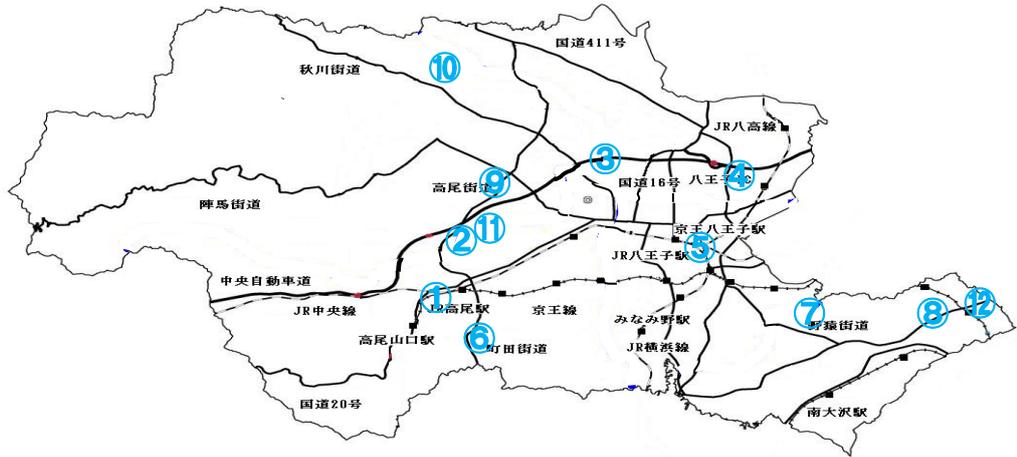
八王子市立児童館一覧

児童館名	所在地	電話番号
浅川児童館	八王子市 初沢町1323	042-665-2506
		070-1276-9143
中郷児童館	長房町891-2	042-663-6770
		070-1276-9147
中野児童館	中野山王3-6-27	042-624-9559
		070-1276-9149
南大谷児童館	大谷町46-1	042-645-0482
		070-1276-9164
北野児童館	北野町549-9	042-645-8580
		070-1276-9168
館ヶ丘児童館	館町1097-57	042-665-5231
		070-1276-9170
由木児童館	越野692-1	042-676-8713
		070-1276-9174
松が谷児童館	松が谷13	042-675-0151
		070-1276-9179
元八王子児童館	大楽寺町508-3	042-625-6484
		070-1276-9203
川口児童館	川口町3974	042-654-4757
		070-1276-9229
中郷児童館長房分館	長房町341	042-663-6485
		070-1276-9232
松が谷児童館鹿島分館	鹿島2	042-675-0150
		070-1276-9234

八王子市

児童館案内図

お願い 児童館には駐車場がありません。来館される方は、徒歩、自転車、又は交通機関をご利用ください。
(館ヶ丘児童館には9台分の駐車スペースがあります。)



① 浅川児童館



② 中郷児童館

⑪ 中郷児童館長房分館



③ 中野児童館



④ 南大谷児童館



⑤ 北野児童館



⑥ 館ヶ丘児童館



⑦ 由木児童館



⑧ 松が谷児童館

⑫ 松が谷児童館鹿島分館



⑨ 元八王子児童館



⑩ 川口児童館



令和3年度(2021年度)
八王子市児童館事業報告書

発行日 : 令和4年(2022年) 7月
発行 : 八王子市子ども家庭部青少年若者課
〒192-8501
八王子市元本郷町3-24-1
電話 : 042-620-7435
FAX : 042-627-7776